

松くい虫防除事業

衣袋委員 松くい虫の被害が散見されているが現在の状況は。

林政課長 広範囲でなかなか対策が難しいが、基本的に松林が集団で残っていると、対策をするため、保全松林の指定をしている。防除事業をしている教育の森、ふるさと森林公園については、防除の効果が少しずつ出てきている。春と秋の調査の結果、被害木の数は減ってきている。



松くい虫による被害

商工費

買い物困難地域支援

笹原委員 買い物環境充実支援事業の成果は。
商工観光課長 車両購入補助を行い、2台体制で町内全域を戸別訪問していただいている。令和5年4月当初と年度末を比較して、訪問件数が5倍、利用人数で4倍と大変増加している。

地域応援券事業の方向性

丸川委員 様々な物の価格が上昇している中で、消費者支援としての事業の方向性は。
商工観光課長 コロナの5類移行により一定程度経済活動も回復しているの、消費者支援としての実施の予定はないが、国・県の動向を見据えながら、必

要な段階を適切に判断していききたい。

アユの漁獲量拡大

佐々木委員 駆除として捕獲したブラックバスを買い取るが、その後の処理はどうしているか。



駆除されたブラックバス

商工観光課長 基本的には廃棄処分しているが、一部は、町民の有志の方が、乾燥し破碎して堆肥にする取り組みなども行われている。

土木費

維持修繕業務委託の効果

丸川委員 道路及び河川の維持修繕を委託したことによる成果は何か。

建設課長 これまで町職員が対応していた簡易な作業を委託したことにより、職員の業務として、令和4年度に区長会から要望のあった、町道、林道、河川等の整備を実施することができた。

横山委員 防災情報に關して多様な手段を提供されているが、登録や利用の状況と課題は。
総務課長 戸別受信機は360台貸与。防災アプリ1151件、緊

急配信メール260件、LINE友達329件の登録。戸別受信機には在庫があり、防災アプリ等の登録もお願いしたく、機会を捉えてPRしたい。

防火水槽新設工事

金田委員 当初予算約3300万円に対し、約1200万円の決算となり、大幅な減額となったがどのような要因からか。

総務課長 工事現場での湧水による場所の変更や、既存の設備を大きく取り壊す必要などを想定して、事業費の予算化をした。このたびの有蓋化工事についてはそれらの対応をすることなく、既存の防火水槽への蓋がけで貯水量を確保することができたため。



蓋がけした防火水槽

地域防災マネージャー

笹原委員 地域防災マネージャーの活動と成果は。

総務課長 自治会や小学校などで、防災知識の普及・啓発に関する出前講座を行ったので、幅広い世代へ防災意識の向上が図られた。

消防費

防災情報の状況

横山委員 防災情報に關して多様な手段を提供されているが、登録や利用の状況と課題は。
総務課長 戸別受信機は360台貸与。防災アプリ1151件、緊